

温泉給湯契約

更改方針は

町長答弁

来年の春17年度中に民営化する。今年の更新は、10年前と変わらない内容で進める。

今後民営化で引き継ぐ債務を極力少なくするようにしたい。特に納付誓約等に

応じない場合には給湯口数を減らしたり、継続の更新も拒否をしていきたい。水道課、収納課、と連絡協調を図りきちんとやる。



高橋博幸

広域連合

解散について

質問

「ゴミ処理や消防等の町民生活に直結する事業は広域連合解散となってもやっていけるのか、今後の取り組み方針を伺う。」

町長答弁

町は原則として広域連合は存続という考え方で対応していく方針で、行政サービスが低下することなく、これから湯沢町がある意味で優位に行くような形の中で対応していきたい。

質問

資料を見ると、最終的に1市1町になったところは、皆広域が存続していない。資料にある群馬県富士見村の場合でも、事務委託とな



南魚沼地域広域連合本庁舎

り、常備消防だけで前橋市から約89%増の委託料を請求されている。

町長答弁

南魚沼市長の井口市長も「湯沢町に極端におかしく不利になるようなことだけはしない！」と言っている。湯沢町としては基本的な考え方は、将来に渡ってサービスの低下と負担の増を招かないというようなことが担保されなければ、簡単に解散に同意はできないという気持ちで望んでいきたい。

町長の経営手法について

質問

町長の選挙公約と実践の不一致の現実を踏まえ、自身のとってきた経営手法をどう考えるのか伺います。

町長答弁

全般的に私の経営的な手法が非常に遺憾ではありませんか？というご指摘であります。私は少なくとも職員の方々の皆さんの意見も聞きながら、私なりに公明正大にいろいろと業務を進めて参ったと思っています。

質問

町長の公約にまちづくり町民参加条例の制定があるが、現実的には、今町民なんか無視で、実質的には議会を抱き込めば良いという感覚でありおかし。町民の方を向いていない。

定例議会が始まる前には町の幹部と議会の幹部と会合するのはおかし。どこで、だが、何を話したか、一般の議員には一切判らないし、教えてもらえない。

これはやはり密室政治の何者でもない。出席する議員も十分反省するべきである。

町長の今の手法は限りなく不透明性を高めているだけだ。

公約を信じて、あなたをご支持した方たちは今、皆泣いている。支持をした方はもう勘弁してくれと考えている。

町長答弁

まあやっぱり時代は、刻々と変わってくるんです。また変わっていくかなくては生きていけないんですよ！これが人間の、私は人生というふうに捉えている。

別に議会を丸めこもうと考えたことはなく、懇談をやるのが、何で密室政治であるという発想がわからない。

良い意味で真剣に役場の事務室で協議をし、議論しそれで終わった後に、ようやく7時位から一杯軽く飲んでるわけだ。あれもだめだ、これもだめだ、では自由闊達な論議が出来ないと私は思うんだよね。